

鹿島グループの専門力

各専門分野に豊富な実績を持つ会社と連携し、BCPの総合的なソリューションを提供します。



(株)小堀鐸二研究所

地震工学のパイオニアとして研究・開発に取り組み、震源から地盤・杭・建物まで、一連の地震による力のやり取りをシームレスに評価するエンジニアリング・ファームです。



鹿島建物総合管理(株)

総合的なビルディング・マネジメント (BM) サービスを提供しています。全国各地で2,000棟超の建物管理を受託しています。



鹿島リース(株)

建物や事務用機器のリースを行い、お客様の事業環境の整備をお手伝いしています。

地震の 見えない 影響を 可視化する

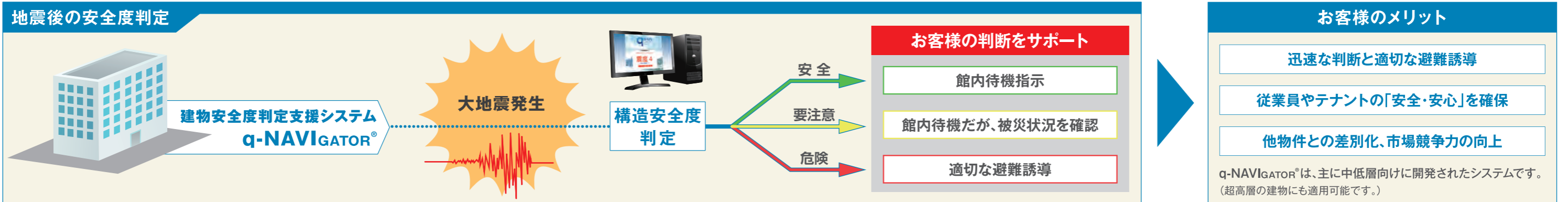
建物安全度判定支援システム



q-NAVIGATOR®は、(株)小堀鐸二研究所が開発したシステムです。(鹿島グループ推奨)

地震後の建物の安全性をいち早く判定し、避難の要否判断/BCP対応を支援します

平成23年3月11日の東日本大震災では首都圏において約515万人の帰宅困難者が発生し、大きな混乱が起きました。事業者は施設の安全を確認した上で、従業員などを施設内に待機させることが求められています。建物内の安全性を早期にかつ客観的に判断することは、利用者・居住者の安全・安心につながります。鹿島は建物安全度判定支援システムにより発災時の事業判断を支援するほか、各種BCP支援サービスを提供します。

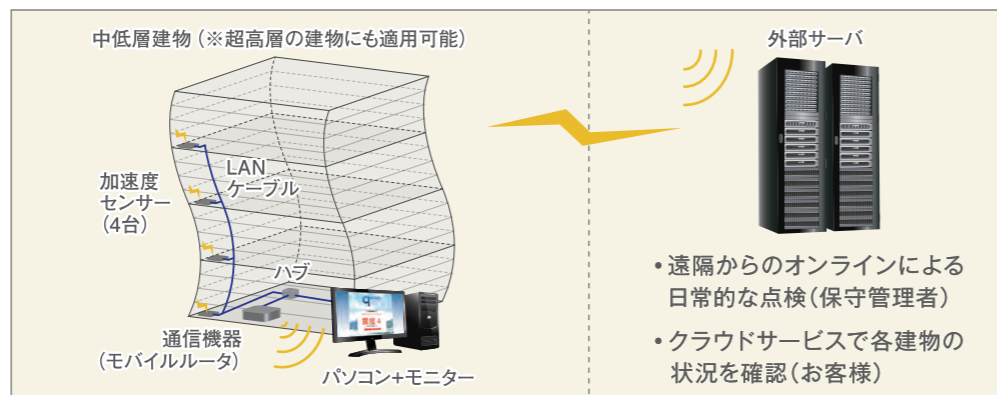


建物安全度判定支援システム q-NAVIGATOR®とは

建物にセンサーを設置して地震時の挙動を計測・推定し、建物の安全性を速やかに判定してお客様の判断を支援するシステムです。

■ システムの構成

標準的には、4台の加速度センサーとパソコン、通信機器などによる簡単な構成です。(※センサーの数は必要に応じて増やすことが可能です。) 超高層ビル向けに長年研究・開発してきた建物被災モニタシステムの技術を生かし、中低層に適用可能なシステムを開発しました。



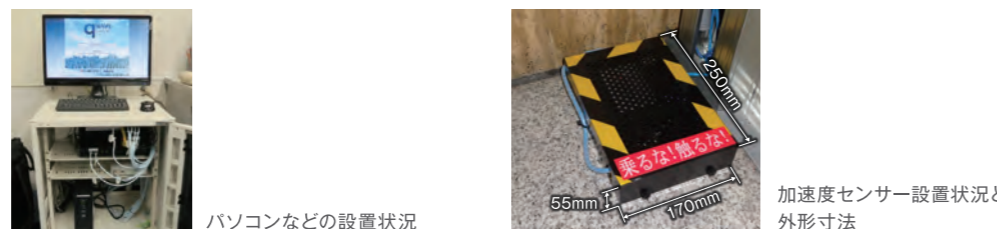
■ モニター表示例

建物の構造に関する専門知識を持たない方でも安全度がひと目で分かる表示です。専門家向けのさらに詳細なデータも閲覧ができます。



■ q-NAVIGATOR®設置イメージ

パソコン、モニター、ハブ、通信機器などを管理室や防災センターなどに集約します。また、加速度センサーは、必要階のEPS内などに設置します。



q-NAVIGATOR®の5つの特長

システムの特長は5つの言葉でまとめられます。

- 1 信頼性**
お客様提供の設計資料や耐震診断書に基づいた、構造専門家による安全性判定基準を採用し、建物ごとに合理的な判定表示が可能です。
- 2 迅速性**
安全度の判定までに要する時間は、地震の揺れが終了してから3分程度です。
- 3 経済性**
必要なハードウェアはセンサー、パソコン、通信機器、UPS及び周辺機器。実績があり信頼性に優れた市販品を多く用いており、低価格での提供が可能です。
- 4 高性能**
加速度センサーを複数配置(4台以上)することで建物の変形を直接的に計測し、構造的な被害を高精度に評価します。また、繰り返し起こる地震の影響も評価します。
- 5 拡張性**
クラウドサービスにより、複数建物の状況を一括で確認できます。対象建物は、順次増やすことが可能です。

建物の一生をサポート

鹿島グループは、q-NAVIGATOR®導入から管理運用、もしもの際の応急対策とその後の不動産活用のご相談まで、あらゆる分野の専門家を有しており、お客様の震災リスクマネジメントをサポートします。

